【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2005-304039(P2005-304039A)
【公開日】平成17年10月27日(2005.10.27)
【年通号数】公開・登録公報2005-042
【出願番号】特願2005-114781(P2005-114781)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｍ　3/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　1/725　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　15/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/14　(2006.01)
Ｈ０４Ｑ　7/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｍ　3/00　Ｃ
Ｈ０４Ｍ　1/725
Ｈ０４Ｍ　15/00　Ｂ
Ｈ０４Ｎ　7/14
Ｈ０４Ｂ　7/26　１０９Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成20年2月25日(2008.2.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
他の通信装置と通信する通信装置において、
第１の通信回線を利用して通信する第１の通信手段と、
前記第１の通信回線とは異なる第２の通信回線を利用して通信する第２の通信手段とを備え、
前記第１の通信回線を利用した通信に必要な前記他の通信装置のアクセス情報を、前記第２の通信回線を利用して取得し、
取得した前記アクセス情報に基づいて前記第１の通信回線を利用して主情報を通信することを特徴とする通信装置。
【請求項２】
携帯型の他の装置と通信する第１の通信手段と、
前記携帯型の他の装置を介さない通信回線を利用して他の通信装置と通信する第２の通信手段と
を備え、
前記第２の通信手段による前記他の通信装置との通信に必要なアクセス情報を前記第１の通信手段により取得し、
前記第１の通信手段により取得した前記アクセス情報に基づいて前記第２の通信手段により主情報を通信する
ことを特徴とする通信装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明の第１の側面は、他の通信装置と通信する通信装置において、第１の通信回線を利用して通信する第１の通信手段と、第１の通信回線とは異なる第２の通信回線を利用して通信する第２の通信手段とを備え、第１の通信回線を利用した通信に必要な他の通信装置のアクセス情報を、第２の通信回線を利用して取得し、取得したアクセス情報に基づいて第１の通信回線を利用して主情報を通信する通信装置である。
本発明の第２の側面は、携帯型の他の装置と通信する第１の通信手段と、携帯型の他の装置を介さない通信回線を利用して他の通信装置と通信する第２の通信手段とを備え、第２の通信手段による他の通信装置との通信に必要なアクセス情報を第１の通信手段により取得し、第１の通信手段により取得したアクセス情報に基づいて第２の通信手段により主情報を通信する通信装置である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明の第１の側面においては、第１の通信回線を利用した通信に必要な他の通信装置のアクセス情報が、第２の通信回線を利用して取得され、取得されたアクセス情報に基づいて第１の通信回線を利用して主情報が通信される。
本発明の第２の側面においては、第２の通信手段による他の通信装置との通信に必要なアクセス情報が第１の通信手段により取得され、第１の通信手段により取得されたアクセス情報に基づいて第２の通信手段により主情報が通信される。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
請求項１の通信装置（例えば、図１のターミナルアダプタ３０２）は、他の通信装置（例えば、図１のターミナルアダプタ２０２）と通信する通信装置（例えば、図１のターミナルアダプタ３０２）において、第１の通信回線（例えば、図１のＯＣＮ２３３）を利用して通信する第１の通信手段（例えば、図１のターミナルアダプタ３０２の図３の通信部３７）と、第１の通信回線（例えば、図１のＯＣＮ２３３）とは異なる第２の通信回線（例えば、図１の赤外線）を利用して通信する第２の通信手段（例えば、図１のターミナルアダプタ３０２の図３の赤外線通信部２０４）とを備え、第１の通信回線（例えば、図１のＯＣＮ２３３）を利用した通信に必要な他の通信装置（例えば、図１のターミナルアダプタ２０２）のアクセス情報（例えば、図７のステップＳ７０１のＩＰアドレスＩＰ（２０２））を、第２の通信回線（例えば、図１の赤外線）を利用して取得し、取得したアクセス情報（例えば、図７のステップＳ７０１のＩＰアドレスＩＰ（２０２））に基づいて第１の通信回線（例えば、図１のＯＣＮ２３３）を利用して主情報（例えば、画像データ）を通信することを特徴とする。
請求項２の通信装置（例えば、図１のターミナルアダプタ３０２）は、携帯型の他の装置（例えば、図１のＰＨＳ３０１）と通信する第１の通信手段（例えば、図１のターミナルアダプタ３０２の図３の赤外線通信部２０４）と、携帯型の他の装置（例えば、図１のＰＨＳ３０１）を介さない通信回線（例えば、図１のＯＣＮ２３３）を利用して他の通信装置（例えば、図１のターミナルアダプタ２０２）と通信する第２の通信手段（例えば、

図１のターミナルアダプタ３０２の図３の通信部３７）とを備え、第２の通信手段による他の通信装置（例えば、図１のターミナルアダプタ２０２）との通信に必要なアクセス情報（例えば、図７のステップＳ７０１のＩＰアドレスＩＰ（２０２））を第１の通信手段により取得し、第１の通信手段により取得したアクセス情報（例えば、図７のステップＳ７０１のＩＰアドレスＩＰ（２０２））に基づいて第２の通信手段により主情報（例えば、画像データ）を通信することを特徴とする。